

Reconstructive Therapy of Peri-implantitis Defects (インプラント周囲炎欠損に対する再建療法)

歯科インプラントの使用が増加し続けるにつれ、生物学的合併症の発生率も増加しています。インプラント周囲炎によってすでに広範な骨吸収が生じている場合、臨床医は「再建療法によってインプラントの保存を図るべきか、それともインプラントを撤去して再埋入を行うべきか」という重要な判断を迫られます。現在のところ、いかなる外科的手法においても予知性高く再オッセオインテグレーション（再骨結合）を達成できることは証明されていません。しかし、本講演では、選択されたインプラント周囲炎による骨欠損に対して、硬組織再建を行うための治療プロトコルを紹介します。

講師

Dr. Mario Rocuzzo

Adjunct Professor in the Division of Maxillofacial Surgery at the University of Torino
Adjunct Clinical Assistant Professor in the Department of Periodontics and Oral Medicine at the University of Michigan



日時

2026年9月19日(土) 14:10~15:00

会場

東京国際フォーラム ホールE2
(Eブロック 地下2階)

企業セミナー会場(展示ホール内)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1

共催

第56回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会/
ガイストリッヒファーマジャパン株式会社

【使用目的又は効果】

本品は、骨再生誘導法(GBR法)を行う際に、抜歯窩及び(インプラントの安定性が既存骨により得られており、かつ、本品を使用した部位に咬合負荷等の荷重がかからない)インプラント周囲の骨欠損を含む骨欠損部に充填し、骨再生のために用いる。本品は自家骨と併せて用いることがある

Geistlich Bio-Oss® Collagen 添付文書(第1版)より一部抜粋



一般名称 歯科用コラーゲン使用骨再生材料/
販売名 ガイストリッヒ バイオオス コラーゲン/
医療機器承認番号 30700B2I00023000 / 高度管理医療機器

販売業者 ガイストリッヒファーマジャパン株式会社
選任製造販売業者 AJMD株式会社

leading regeneration



Geistlich
Pioneering Spirit